

令和 3 年度第 16 回

地域連携推進機構運営会議 議事次第

日 時：令和 4 年3月8日（水）（メール送信日）～ 3 月 9 日（木）（意見等期限日）

【議題】

< 審議事項 >

資料番号

1 追加の公開授業について

審議 1

※参考資料

- ・ 地域連携推進機構運営会議 委員名簿（令和 3 年 4 月 1 日時点）（参考資料）

令和4年度公開授業一覧(追加科目)

No.	科目種別	学部	教員名	科目名	単位数	学期	初回講義	曜日	時限	ICT利用	募集人数	SDGs	遠隔実施	受講料
1	共通教育科目	地域連携推進機構	畑中 寛、松本 剛	琉大特色・地域創生特別講義Ⅸ(星空案内人養成講座)	2	前学期	4月16日	土	午後	可	40	4,10,11,16,17	可	4800
2	共通教育科目	地域連携推進機構	畑中 寛	地域企業(自治体)お題解決プログラム	2	前学期	4月12日	火	6	可	10	4,11,17	可	4800
3	共通教育科目	地域連携推進機構	畑中 寛	地域企業(自治体)お題解決プログラム 01組	2	後学期	10月4日	火	6	可	10	4,11,17	可	4800
4	共通教育科目	地域連携推進機構	喜納 育江、畑中 寛	キャリアデザインとジェンダーⅡ	2	後学期	10月6日	木	5	可	10	4,5,8,10,17	可	4800
5	共通教育科目	地域連携推進機構	島袋 純、畑中 寛、宮里 大八	琉大特色・地域創生特別講義Ⅴ「政策立案能力強化プログラム」	2	後学期	後学期集中講義	土	3～5	可	10	4,11,17	可	4800
6	共通教育科目	地域連携推進機構	畑中 寛、宮里 大八	総合特別講義Ⅵ「クラウドファンディング実践講座」	2	前学期	前学期集中講義	日	3～5	可	10	4,17	可	4800
7	共通教育科目	地域連携推進機構	畑中 寛、平井 雅	総合特別講義Ⅶ「ファンリテーションの技法と地域振興」	2	前学期	前学期集中講義	土	3～5	可	10	4,17	可	4800
8	共通教育科目	地域連携推進機構	畑中 寛、平良 斗星	総合特別講義Ⅷ「地域円卓会議マネジメントの技法と実践」	2	前学期	前学期集中講義	土	3～5	可	10	4,17	可	4800
9	専門科目	地域連携推進機構	高畑 明尚、畑中 寛	「ICTの活用による地域課題解決」	2	前学期	前学期集中講義	土	3～5	可	10	4,8,17	可	4800
10	専門科目	地域連携推進機構	高畑 明尚、畑中 寛	「コミュニティ・プロデューサー養成講座」	2	後学期	後学期集中講義	土	3～5	可	10	4,8,17	可	4800
11	専門科目	地域連携推進機構	高畑 明尚、畑中 寛	実践経済学Ⅴ「ソーシャルインパクトボンド基礎概論基礎概論」	2	後学期	後学期集中講義	土	3～5	可	10	4,8,17	可	4800

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	グローバル教育支援機構			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	琉大特色・地域創生特別講義Ⅸ(星空案内人養成講座)(琉99)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授), 松本 剛(非常勤講師)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中 (土 曜日・ 午後2～4時間)			
授 業 時 間	土曜日のうちの指定日 午後2～4時間の集中講義 (学内で行事のある日を除く。日程は調整中。シラバスを参照のこと。) 計8回			
開 催 会 場 (教 室)	共通教育棟1号館118教室	受講者のWebClass 登 録	要・不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	可・否 ☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5～10名以内)	40人(但し受講希望者多数の場合は相談に応ず)			
授 業 内 容 星空案内人(星のソムリエ®)は、地域で星空や宇宙の世界、またその楽しさを教えら れる人である。本科目は「星空案内人資格認定制度運営機構」の認証に基づき、同機 構の定める基準に基づいて開講され、修了により資格取得が可能である。				
授業の趣旨に 対応するSDG s	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に 健康と福祉を	4:質の高い教育を みんなに
	5:ジェンダー平等を 実現しよう	6:安全な水とトイレを 世界中に	7:エネルギーを皆に そしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の 基盤を作ろう	10:人や国の不平等を なくそう	11:住み続けられる まちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に 具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正を すべての人に
	17:パートナーシップ で目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	受講登録者各位の指定メールアドレス宛連絡を行う。			
備 考	講義については現在のところ教室で行う予定であるが、コロナウイルス感染状況を考慮の上、全部または一部を遠 隔で行う場合がある。那覇・久米島・宮古・石垣・国頭サテライトキャンパスへの配信も行う。実技については教室で 対面で行うが、密を避けるため複数回に分けて行うことがある。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	グローバル教育支援機構 キャリア教育支援部門			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	地域企業(自治体)お題解決プログラム(C31・BC31)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	4月 12日 (火 曜日・ 6 時限目)			
授 業 時 間	18:00 ~ 19:30			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ 不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☒ 可・否 ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5 ~ 10名以内)	10人			
授 業 内 容 本科目は、受講生が県内市町村(自治体)、団体、企業等が取り組んでいる課題解決を調査し、実際に課題解決に向けてグループで活動することで、これからの社会に求められる社会人基礎力を培い、キャリア観の醸成を図ることを目的とします。 また、県内市町村が実際に取り組む課題解決のためのプロジェクトからテーマを選択し、ワーキンググループとして活動することで、これからの社会に求められる次世代を担うリーダーとして意識や課題発見力・課題解決力を育むことも狙いとします。 授業では、選択したプロジェクト(テーマ)に関わる自治体・企業・学校・コーディネーターなどの指導の下、課題解決等についての知識や情報を得るための座学と実践(フィールドワーク)とを組み合わせを進め、最終的に課題解決に向けた提案を自治体のトップに対して行います。				
授業の趣旨に 対応するSDG s	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に 健康と福祉を	4:質の高い教育を みんなに
	5:ジェンダー平等を 実現しよう	6:安全な水とトイレを 世界中に	7:エネルギーを皆に そしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の 基盤を作ろう	10:人や国の不平等を なくそう	11:住み続けられる まちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に 具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正を すべての人に
	17:パートナーシップ で目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	※「初級地域公共政策」資格認定科目です。 ・オンライン授業(Zoom)を基本に、フィールドワーク(対面)を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	グローバル教育支援機構 キャリア教育支援部門			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	地域企業(自治体)お題解決プログラム01組(C31・BC31)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	10月 4日 (火 曜日・ 6 時限目)			
授 業 時 間	18:00 ~ 19:30			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ 不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☒ 可 ・ 否 ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5 ~ 10名以内)	10人			
授 業 内 容 本科目は、受講生が県内市町村(自治体)、団体、企業等が取り組んでいる課題解決を調査し、実際に課題解決に向けてグループで活動することで、これからの社会に求められる社会人基礎力を培い、キャリア観の醸成を図ることを目的とします。また、県内市町村が実際に取り組む課題解決のためのプロジェクトからテーマを選択し、ワーキンググループとして活動することで、これからの社会に求められる次世代を担うリーダーとして意識や課題発見力・課題解決力を育むことも狙いとしています。 授業では、選択したプロジェクト(テーマ)に関わる自治体・企業・学校・コーディネーターなどの指導の下、課題解決等についての知識や情報を得るための座学と実践(フィールドワーク)とを組み合わせを進め、最終的に課題解決に向けた提案を自治体のトップに対して行います。				
授業の趣旨に対応するSDGs	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に健康と福祉を	4:質の高い教育をみんなに
	5:ジェンダー平等を実現しよう	6:安全な水とトイレを世界中に	7:エネルギーを皆にそしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の基盤を作ろう	10:人や国の不平等をなくそう	11:住み続けられるまちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正をすべての人に
	17:パートナーシップで目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	※「初級地域公共政策」資格認定科目です。 ・オンライン授業(Zoom)を基本に、フィールドワーク(対面)を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も使います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	グローバル教育支援機構 アドミッション部門			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	キャリアデザインとジェンダーⅡ (C14・BC14)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	喜納 育江(国際地域創造学部 教授), 畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	10月 6日 (木 曜日・ 5 時限目)			
授 業 時 間	16:20 ~ 17:50			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ 不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ 可 ・ 否 ☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5 ~ 10名以内)	10人			
授 業 内 容 本科目はキャリア形成におけるジェンダーの問題やダイバーシティ推進に関する学生の自発的な学びを促すキャリア関係科目で、キャリアデザインに関するワークショップやグループディスカッションなどを組み合わせたアクティブラーニングにより学生の理解を深めます。 また、沖縄で活躍している女性講師を迎え、自らのキャリアについて、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス、国際化等の観点からレクチャーしていただき、学生が自らのキャリアデザインについて考える場も提供します。 さらに、キャリアデザインに関する本学教員やコンサルタント等によるワークショップを踏まえ、自らのキャリアや職業観を見直す機会も提供します。				
授業の趣旨に対応するSDGs	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に健康と福祉を	4:質の高い教育をみんなに
	5:ジェンダー平等を実現しよう	6:安全な水とトイレを世界中に	7:エネルギーを皆にそしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の基盤を作ろう	10:人や国の不平等をなくそう	11:住み続けられるまちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正をすべての人に
	17:パートナーシップで目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	・Zoomを基本とするオンライン型授業です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップ/パソコンかノートパソコンで受講してください。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	グローバル教育支援機構			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	琉大特色・地域創生特別講義Ⅴ「政策立案能力強化プログラム」 (琉95)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	島袋 純(教育学部教授), 畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授), 宮里 大八(非常勤講師)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	後学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中 集中講義(土曜日・3～5時限目)			
授 業 時 間	12:50 ～ 17:50			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ ☒ 不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ 可 ・ ☐ 否 ☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5 ～ 10 名以内)	10人			
授 業 内 容 本科目では、沖縄市を事例に地域活性化及び地域経営の具体的な課題を発見し、現実に応じた政策立案を実際に取り組みます。地域的な課題の発見のために地域のあるべき姿については、持続可能な開発目標(SDGs)を基準として、2030年に定められた達成目標から構築していくこととします。 また、課題解決の方法についても、SDGsによって必須とされる、多様なステークホルダーが効果的に参加する合意形成のプロセスのあり方を学習し取り組みます。 学習プロセスをすべて話し合い学習により進め、グループ共通の認識、共通の解を求め、成果を共有していき、最終的には教室全体の共通の認識と成果の共有を図っていく方法をとります。そのため、ファシリテーション・スキルの修得を重視します。さらに、PDCAマネジメントサイクルの重要性を理解し、公共政策について、目標(課題)を吟味し、基本施策や事業の達成状況を評価する能力を身に着けます。				
授業の趣旨に 対応するSDG s	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に 健康と福祉を	☒ 4:質の高い教育を みんなに
	5:ジェンダー平等を 実現しよう	6:安全な水とトイレを 世界中に	7:エネルギーを皆に そしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の 基盤を作ろう	10:人や国の不平等を なくそう	☒ 11:住み続けられる まちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に 具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正を すべての人に
	☒ 17:パートナーシップ で目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	※初級地域公共政策工「資格認定科目」です。 ・オンライン授業(Zoom)を基本に、現地調査(対面)を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も利用します。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	グローバル教育支援機構			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	総合特別講義Ⅵ「クラウドファンディング実践講座」(総96)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授), 宮里 大八(非常勤講師)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中 集中講義(日曜日・3～5時限目)			
授 業 時 間	12:50 ～ 17:50			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ 不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5～10名以内)	10人			
授 業 内 容 本講座では、地域が抱える課題を解決するため新たな資金調達の方法である「クラウドファンディング」について、商品開発やサービス提供などの事業プランニングの手法を学習します。 本講座を通じて、地域づくりに取り組むコンセプト、事業プランニング、ソーシャルメディア戦略などを、受講生一人一人が考え、実際にクラウドファンディングを立ち上げることができるようになるよう、実践的な授業を行います。 また、本講座では、専門家による講義に加え、県内にてクラウドファンディングを運営する機関、クラウドファンディングのコーディネート役割を担うキュレーターによる実践的なプロジェクトの立ち上げ方法についても学びます。県内から講師を招聘し、クラウドファンディングの成功・失敗事例、クラウドファンディングをコーディネートするキュレーターの事例を学びながら、クラウドファンディングの実践力をつけていきます。				
授業の趣旨に 対応するSDG s	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に 健康と福祉を	4:質の高い教育を みんなに
	5:ジェンダー平等を 実現しよう	6:安全な水とトイレを 世界中に	7:エネルギーを皆に そしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の 基盤を作ろう	10:人や国の不平等を なくそう	11:住み続けられる まちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に 具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正を すべての人に
	17:パートナーシップ で目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	・「初級地域公共政策士」資格認証科目です。 ・Zoomを基本とするオンライン型授業です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	グローバル教育支援機構			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	総合特別講義Ⅷ「ファシリテーションの技法と地域振興」(総98)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授), 平井 雅(非常勤講師)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中 集中講義(土曜日・3～5時限目)			
授 業 時 間	12:50 ～ 17:50			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ <u>不要</u>	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5 ～ 10名以内)	10人			
授 業 内 容 ファシリテーション(facilitation)とは、人々の活動が容易にできるよう支援し、うまくことが運ぶよう舵取りすること。集団による問題解決、アイデア創造、教育、学習等、あらゆる知識創造活動を支援し促進していく働きを意味します。その役割を担う人がファシリテーター(facilitator)であり、会議で言えば進行役にあたります。(日本ファシリテーション協会HPより) 本科目では、地域振興及び地域課題解決に活かせるファシリテーションの考え方と技法について座学とグループワークを通して詳しく学修します。 これらを通して、地域振興や地域課題解決の現場で実践できるようになるためのファシリテーション力やコミュニケーション力を身に付けることを目的とします。				
授業の趣旨に対応するSDGs	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に健康と福祉を	<u>4:質の高い教育をみんなに</u>
	5:ジェンダー平等を実現しよう	6:安全な水とトイレを世界中に	7:エネルギーを皆にそしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の基盤を作ろう	10:人や国の不平等をなくそう	11:住み続けられるまちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正をすべての人に
	<u>17:パートナーシップで目標を達成しよう</u>			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	※「初級地域公共政策」資格認定科目です。 ・Zoomを基本とするオンライン型授業です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	グローバル教育支援機構			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	総合特別講義Ⅸ「地域円卓会議マネジメントの技法と実践」(総99)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授), 平良 斗星(非常勤講師)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中 集中講義(土曜日・3～5時限目)			
授 業 時 間	12:50 ～ 17:50			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ 不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ 可 ・ 否 ☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5～10名以内)	10人			
授 業 内 容 本科目では、沖縄式地域円卓会議の手法である、地域の「困り事」を、単独あるいは2者間で協議するのではなく3者以上のステークホルダー(利害関係者)で、意見交換の方法を学んでいきます。様々な事実・視点・評価・事例が提供されるため、地域の「困り事」は研ぎ澄まされ、「社会課題」へと昇華していくプロセスを知ることができます。 また、本科目では、沖縄式地域円卓会議が取り組むテーマと参加者を決めるプロセス、当日の司会者と記録者(ファシリテーショングラフィック)による会議の運営方法を学びます。司会者が、対話を持って地域の社会課題を解きほぐし、どのように参加者の意識を「他人事から自分事(じぶんごと)」に変えていけるかのノウハウを習得します。記録者は、会議で発露された情報を構造化し、その記録は、今後の課題解決に向けてのアプローチの基礎となります。 さらに、実際の地域円卓会議の運営現場の見学と運営補助を行うことによって、学びを深めていき、最後は地域円卓会議を創るシミュレーションワークショップを体験できる内容となっています。				
授業の趣旨に対応するSDGs	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に健康と福祉を	4:質の高い教育をみんなに
	5:ジェンダー平等を実現しよう	6:安全な水とトイレを世界中に	7:エネルギーを皆にそしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の基盤を作ろう	10:人や国の不平等をなくそう	11:住み続けられるまちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正をすべての人に
	17:パートナーシップで目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	※初級地域公共政策上級資格認定科目です。 ・オンライン授業(Zoom)を基本に、現場体験型授業を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	国際地域創造学部 国際地域創造学科			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	「ICTの活用による地域課題解決」(経済416)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	高畑 明尚(国際地域創造学部 教授), 畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	前学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中 集中講義(土曜日・3～5時限目)			
授 業 時 間	12:50 ～ 17:50			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ 不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス 可 ・否 ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5～10名以内)	10人			
授 業 内 容 本科目は、現代人の社会的・職業的自立に必須の基盤となる能力の一つであるInformation and Communication Technology (ICT) の基礎と応用事例を学習し、さらに、具体的な課題解決の提案書の作成を通じて、従来の考え方に囚われずに物事を前に進めていく「基礎的・汎用的能力」、その中でも特に、様々な課題を発見・分析し、適切なビジョンを描き、その課題を解決に導く「課題対応能力」を育成し、受講者の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力と態度を養成します。 また、ICTの3本柱であるAI、Blockchain及びIoTを中心に各技術の基礎を理解した上で、これらを応用し、解決を行える人材を育成するため、対象分野におけるデジタル化による新しい世界観を踏まえ、課題解決に向けた提案書作成の手法を学習する総合的な内容を扱います。 具体的には、AI、Blockchain及びIoT技術内容と国内外におけるデジタル化の事例、先端技術を活用した業界ユースケースの講義を踏まえ、シビックテックやオープンデータの考え方や必要性について学び、ワークショップ形式でICTを活用した地域課題解決を検討し、企画提案書を作成します。				
授業の趣旨に 対応するSDG s	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に 健康と福祉を	4:質の高い教育を みんなに
	5:ジェンダー平等を 実現しよう	6:安全な水とトイレを 世界中に	7:エネルギーを皆に そしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の 基盤を作ろう	10:人や国の不平等を なくそう	11:住み続けられる まちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に 具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正を すべての人に
	17:パートナーシップ で目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	・「初級地域公共政策士」資格認定科目です。 ・Zoomを基本とするオンライン型授業です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	国際地域創造学部 国際地域創造学科			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	「コミュニティ・プロデューサー養成講座」(経済415)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	高畑 明尚(国際地域創造学部 教授), 畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	後学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中 集中講義(土曜日・3～5時限目)			
授 業 時 間	12:50 ～ 17:50			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ 不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5～10名以内)	10人			
授 業 内 容 本科目では、マルチステークホルダーをつなぎ、地域を元気に盛り上げる能力「プロデュース能力」を高めるための実践的な内容を学習する機会を提供します。海外と県内の事例を比較検証するために、地域のコミュニティ開発が進み、移住者が全米で最も多い都市であるオレゴン州ポートランドをモデルに、県外の自治体と沖縄の自治体を対象とした課題抽出やビジョン策定などの手法を学習します。地域課題抽出のあるべき姿については、国連の持続可能な開発目標(SDGs)を基準として策定し、比較検証に取り組みます。 コミュニティのプロデューサーとして活躍されている、和歌山県の有田川町でポートランドと繋ぎ「有田川という未来 ARIDAGAWA2040」プロジェクトの仕掛け人である有井安仁氏、沖縄で最もまちづくりが注目されている沖縄市コザで街ホテルとしてデザインされたトリップショットホテルズ・コザや「まちづくりゼミ合宿」をプロデュースする島袋武志氏など多彩な外部講師による座学を実施します。また、実際に街ホテルを拠点とし、街歩きのフィールドワークやテーマごとにプロデュースされている現場を調査します。				
授業の趣旨に 対応するSDGs	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に 健康と福祉を	4:質の高い教育を みんなに
	5:ジェンダー平等を 実現しよう	6:安全な水とトイレを 世界中に	7:エネルギーを皆に そしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の 基盤を作ろう	10:人や国の不平等を なくそう	11:住み続けられる まちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に 具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正を すべての人に
	17:パートナーシップ で目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	・「初級地域公共政策士」資格認証科目です。 ・オンライン授業(Zoom)を基本に、現地実習(対面)を組み合わせた「ハイブリッド型授業」です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。			

令和4年度 琉球大学公開授業計画書

学 部 ・ 学 科	国際地域創造学部 国際地域創造学科			
授 業 科 目 名 (科 目 番 号)	実践経済学Ⅴ「ソーシャル・インパクト・ボンド基礎概論」 (経済555・B経済555)			
単 位 数	2単位			
担 当 教 員 名 (職 名)	高畑 明尚(国際地域創造学部 教授), 畑中 寛(地域連携推進機構 特命准教授)			
初 回 開 講 日 (曜 日 ・ 時 限)	後学期集中講義 ※下記の曜日・時限で調整中 集中講義(土曜日・3～5時限目)			
授 業 時 間	12:50 ～ 17:50			
開 催 会 場 (教 室)	オンライン(Zoom)	受講者のWebClass 登 録	要 ・ 不要	
ICT利用 (Zoom等を用いた遠隔授業)	☒ 可 ・ ☐ 否 ☒ Zoom・Teams ☐ サテライトキャンパス ☐ 動画配信 ☐ その他()			
受 講 人 員 (5～10名以内)	10人			
授 業 内 容				
本科目では、社会的インパクト投資の概論を踏まえた上で、その手法の一つであるソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)について、講義とグループワークにより具体的な進め方などを実践的に学べる内容となっています。SIBとは、行政、サービス事業者、投資家など多様な関係者が連携して社会課題解決に取り組む新しい手法です。特にサービスを行っただけではなく、その結果、社会課題が解決されたかどうかを評価し、評価に連動して支払いが行われることが大きな特徴です。例えば、サービス事業者が投資家からお金を集め、効果的ながん検診受診率向上サービスを提供した結果、以前よりがん検診の受診率が向上し、早期がん患者を多く発見できたとすると、がんは早期に治療することで生存率が高くなり、医療費も安くなります。こうした成果を第三者が客観的に評価し、行政とあらかじめ合意した成果を達成した場合、行政は投資家へ配当を含めて支払うことができます。これがSIBの仕組みです。一方、成果が出なければ行政からの支払いは行われません。 講義ではその基本的な仕組みや最新動向に加え、身近な社会課題をテーマとし、グループワークにより調査を進めるなど実践的なノウハウを習得できる内容となっています。これにより、複雑化する社会課題に対して、多様な関係者を巻き込みながら推進する力、社会課題を分析し、解決したかどうかを評価する力、新しい投資手法などを学び、様々な社会課題に対する力を養うことを目標とします。				
授業の趣旨に 対応するSDGs	1:貧困をなくそう	2:飢餓をゼロに	3:すべての人に 健康と福祉を	4:質の高い教育を みんなに
	5:ジェンダー平等を 実現しよう	6:安全な水とトイレを 世界中に	7:エネルギーを皆に そしてクリーンに	8:働きがいも経済成長も
	9:産業と技術革新の 基盤を作ろう	10:人や国の不平等を なくそう	11:住み続けられる まちづくりを	12:つくる責任つかう責任
	13:気候変動に 具体的な対策を	14:海の豊かさを守ろう	15:陸の豊かさを守ろう	16:平和と公正を すべての人に
	17:パートナーシップ で目標を達成しよう			
受講者への連絡方法	課題や休講等についての連絡は、Slackにて行う(初回のみeメール)。			
備 考	・「初級地域公共政策士」資格認証科目です。 ・Zoomを基本とするオンライン型授業です。 ・コミュニケーションツールとして「Slack」を基本とし、「Googleスライド」や「Google Jamboard」も用います。 ・オンラインで高度なグループワークに取り組むため、必ずデスクトップパソコンかノートパソコンで受講してください。			